



**IMAGINE
ROTARY**

浜松ハーモニーロータリークラブ週報

No.1086 2022.08.24 (水)

2022～23年度 RI 会長 ジェニファー E. ジョーンズ
RID2620 ガバナー 浅原 諒蔵 (静岡ロータリークラブ)

Hamamatsu
Harmony RC
Weekly
Bulletin

会長挨拶

皆様、お盆休みはどのようにお過ごしでしたでしょうか？

私は当初3日間休み、弟と高校生と小学生の姪2人とUSJに行く予定でしたが、結局仕事となりまして、休みとなったのは1日だけ

でした。USJに行った姪2人は非常に喜んでいて、もう少し泊りたかったようでした。大人以上に子供が自粛していたことを、改めて不憫だなと感じるとともに、早くこのコロナ禍がおさまることを願うばかりです。先週の水曜日は休会でしたが、私は例会があるような気になっておりましたが、私以外にも例会があると思い、この会場までいらっしゃった方がいました。あえて誰とはいいませんが、クラブが大好きで、そして例会があるのを楽しみにされていたんだと思います。

来週は休会となりますので、皆様お気をつけください。本日は、地域ニーズ調査について、担当である久米幹事・小山副幹事より発表していただきます。本年度より取り組んでおります地域ニーズ調査ですが、昨年度まで実施していた視覚障害者支援事業にかわる新しい事業の発掘をしていくためのものです。地域のために、そしてよいことをするにあたりどんなニーズがあるか、そしてそれが実施可能かどうかを検討していく必要があります。

当クラブの他の2つの事業である「ムンド・デ・アレグリア学校支援事業」「青色回転灯防パトロール事業」は長く続く事業となっています。クラブを活性化するためにも、新しい事業の発掘は急務であると思います。時間があると思っていると、あっという間に時は過ぎていってしまいます。そして、新規事業を開始するには、クラブの皆様の協力が不可欠であります。皆様が前向きに検討し、取り組める事業を発掘し、始めていきたいと思えます。

本日の例会により、新規事業の計画が早く進むことを願ひまして、私の挨拶とさせていただきます。本日もよろしく願いいたします。

加藤健司



プログラム「地区ニーズ調査」

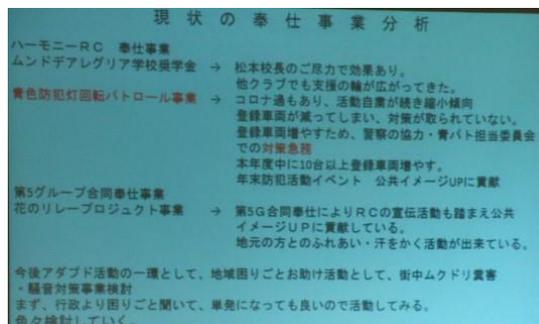
久米康弘幹事、小山太郎副幹事

奉仕事業模索及び継続事業の確立

ロータリーにとって奉仕プロジェクトの「持続可能性」とは、プロジェクト終了後にも、現地の人々が自力でニーズに取り組めるように支援し、長期的な解決策をもたらすことを意味します。

現状の会員のアンケート結果に基づき、子供、教育・青少年育成にやりがいを感じるという意見が多いです。グループごとに協議してもらい様々な方面よりご意見をください。

(各テーブルにて、調査方法や、実際のプロジェクト案、活動を支えるモチベーション、青少年交流となる奉仕等を検討)



幹事報告

回覧 甲子園写真注文表

次週例会案内、地区よりの委嘱状授与↓



スマイル

加藤健司、久米康弘 (内藤様、藤井様、町田様、ようこそおいでくださいました。楽しくお過ごしください)

ピジター

内藤俊和会員、藤井一会員、町田米男会員
(浜北伎倍ロータリークラブ)



浜松ハーモニーロータリークラブ

〒432-8507 浜松市中区東伊場1-3-1 グランドホテル浜松内

Tel: 053-413-1782 Fax: 053-413-1781 e-mail: hhrc@plum.ocn.ne.jp